



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社駒井ハルテック
コード番号 5915 URL <https://www.komaihaltec.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中村 責任
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 飯塚 勉
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3833-5101

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	41,071	53.3	50		685		472	
2023年3月期第3四半期	26,790	27.1	270		27	98.1	61	

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,619百万円 (750.9%) 2023年3月期第3四半期 190百万円 (86.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	101.30	
2023年3月期第3四半期	13.21	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	68,772	31,151	44.5	6,562.82
2023年3月期	61,127	29,862	48.1	6,301.70

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 30,632百万円 2023年3月期 29,376百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		35.00		35.00	70.00
2024年3月期		35.00			
2024年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	35.9	900	184.9	1,100	128.5	600	82.6	128.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	4,972,709 株	2023年3月期	4,972,709 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	305,087 株	2023年3月期	311,025 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	4,665,391 株	2023年3月期3Q	4,659,062 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な子会社の異動)	8
3. その他	8
受注及び販売の状況	

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済正常化が進展する中で引き続き緩やかな景気回復局面で推移したと考えられ、賃上げなどを背景に個人のサービス消費は堅調に推移し、円安を追い風としたインバウンド消費も外需を下支えしております。しかしながら、円安の継続や賃金上昇を超える物価の高騰が継続しており、実質賃金の目減りが個人消費の抑制要因となっていることや、インバウンドや経済再開の需要増に対して深刻化する人手不足は事業活動の障壁となりつつあります。また、欧米では賃金上昇によるインフレ継続で金利が高止まりすることに加え、地政学的な課題が解決されないままであり、海外経済の減速懸念による今後の国内経済への影響が懸念されます。

橋梁・鉄骨業界におきましては、橋梁の発注量は、前年同四半期を大きく下回っております。また、鉄骨の発注量は前年同四半期とほぼ同じ水準となりました。首都圏を中心とした再開発の計画が順次発表されているなか、鋼材価格を始めとする建設資材等は引き続き高い水準で推移しており、計画案件の見直しや工期・工程の遅延等の影響に加え、いわゆる2024年問題への対応もあり業績の下振れが懸念されます。

このような事業環境のなか、当第3四半期連結累計期間の受注高は総額325億9千4百万円（前年同四半期比1.8%減）となりました。売上高は総額410億7千1百万円（同53.3%増）となりました。

損益につきましては、原価が先行して発生したことなどもありましたが、営業利益は5千万円（前年同四半期は2億7千万円の損失）となりました。経常利益は、投資の回収可能性が低下したため過年度に減損損失を計上した貸貸資産について、その未収賃料等の一部を回収し、営業外収益（債権取立益）に計上したことなどにより6億8千5百万円（前年同四半期比2,413.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億7千2百万円（前年同四半期は6千1百万円の損失）となりました。

セグメント別の概要は次のとおりであります。

— 橋梁事業 —

当第3四半期連結累計期間の受注高は、岐阜県知事公共地域連携推進事業（一般国道改築分）濃飛横断自動車道（仮称）濃飛3号橋（P2-P5間）橋梁上部工事他の工事で90億1千9百万円（前年同四半期比23.2%減）となりました。

売上高は、国土交通省中部地方整備局令和3年度1号藤枝B P潮高架橋鋼上部工事他の工事で154億7千4百万円（同47.8%増）となり、これにより受注残高は231億6千5百万円（同13.6%減）となっております。

— 鉄骨事業 —

当第3四半期連結累計期間の受注高は、（仮称）みなとみらい中央地区52街区開発事業計画他の工事で228億4千8百万円（前年同四半期比8.3%増）となりました。

売上高は、大型再開発工事の進行基準工事の売上などで250億6千1百万円（同60.1%増）となり、これにより受注残高は329億8千1百万円（同10.1%減）となっております。

— インフラ環境事業 —

風力発電等による環境事業、インフラを中心とした海外事業における当第3四半期連結累計期間の受注高は、7億2千6百万円（前年同四半期比97.2%増）、売上高は1億2千6百万円（同52.4%減）となり、これにより受注残高は7億1千6百万円（同133.9%増）となっております。

— 不動産事業 —

当社グループは、大阪市淀川区にある大阪事業所の未利用地部分等について賃貸による不動産事業を行っており、当第3四半期連結累計期間における不動産事業の売上高は3億8百万円（前年同四半期比0.5%増）となっております。

— その他 —

当社グループは、その他の事業として印刷事業等を行っており、当第3四半期連結累計期間におけるその他の売上高は、1億円（前年同四半期比8.7%増）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末より76億4千4百万円増加し、687億7千2百万円となりました。

資産の部では、前連結会計年度末より受取手形・完成工事未収入金及び契約資産が37億5千2百万円増加したことなどにより、流動資産が55億4千5百万円増加し、444億3千6百万円となりました。固定資産は前連結会計年度末より20億9千9百万円増加し、243億3千5百万円となりました。

負債の部では、前連結会計年度末より電子記録債務が21億6千2百万円増加したことなどにより、流動負債が31億1千9百万円増加し、238億7百万円となりました。固定負債は138億1千3百万円となり、負債合計は前連結会計年度末より63億5千6百万円増加し、376億2千1百万円となりました。

純資産の部では、前連結会計年度末よりその他有価証券評価差額金が10億8千7百万円増加したことなどにより、純資産は12億8千8百万円増加し、311億5千1百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予測につきましては2023年5月12日に開示しました連結業績予測から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	7,883	7,447
受取手形・完成工事未収入金及び契約資産	25,793	29,546
電子記録債権	2,513	3,025
未成工事支出金	227	490
材料貯蔵品	773	957
未収入金	207	185
その他	1,495	2,784
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	38,891	44,436
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	3,840	3,800
機械・運搬具（純額）	912	1,142
土地	8,585	8,585
その他（純額）	1,677	2,211
有形固定資産合計	15,015	15,739
無形固定資産		
のれん	611	382
その他	147	265
無形固定資産合計	759	647
投資その他の資産		
投資有価証券	6,032	7,596
その他	436	360
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	6,461	7,948
固定資産合計	22,236	24,335
資産合計	61,127	68,772

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	6,765	6,440
電子記録債務	4,041	6,204
短期借入金	4,677	6,407
1年内償還予定の社債	1,860	2,180
未成工事受入金	1,381	649
工事損失引当金	122	87
引当金	402	206
その他	1,436	1,632
流動負債合計	20,687	23,807
固定負債		
社債	3,850	4,800
長期借入金	1,832	3,378
繰延税金負債	1,563	2,035
退職給付に係る負債	2,573	2,560
その他	758	1,039
固定負債合計	10,577	13,813
負債合計	31,265	37,621
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,619	6,619
資本剰余金	8,207	8,205
利益剰余金	12,689	12,835
自己株式	△703	△690
株主資本合計	26,813	26,970
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,624	3,712
退職給付に係る調整累計額	△61	△50
その他の包括利益累計額合計	2,563	3,662
非支配株主持分	485	518
純資産合計	29,862	31,151
負債純資産合計	61,127	68,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
完成工事高	26,790	41,071
完成工事原価	24,357	38,454
完成工事総利益	2,432	2,617
販売費及び一般管理費	2,702	2,566
営業利益又は営業損失(△)	△270	50
営業外収益		
受取配当金	217	244
受取家賃	41	39
材料屑売却益	82	89
債権取立益	-	310
補助金収入	7	93
売電収入	-	44
雑収入	42	15
営業外収益合計	393	836
営業外費用		
支払利息	45	84
社債発行費	22	36
支払手数料	10	80
売電費用	14	-
雑支出	1	1
営業外費用合計	95	202
経常利益	27	685
特別利益		
固定資産売却益	0	4
特別利益合計	0	4
特別損失		
固定資産除売却損	15	12
特別損失合計	15	12
税金等調整前四半期純利益	11	678
法人税、住民税及び事業税	29	87
法人税等調整額	△12	70
法人税等合計	16	158
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5	520
非支配株主に帰属する四半期純利益	55	47
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△61	472

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5	520
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	189	1,087
退職給付に係る調整額	6	11
その他の包括利益合計	195	1,098
四半期包括利益	190	1,619
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	134	1,571
非支配株主に係る四半期包括利益	55	47

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な子会社の異動)

特定子会社の異動には該当しておりませんが、連結子会社であった株式会社プロバンスは、清算終了したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

3. その他

受注及び販売の状況

1. 受注高及び受注残高

当第3四半期連結累計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

項 目		前第3四半期 連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)		前連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
受 注 高	橋 梁 事 業	11,739	35.4	9,019	27.7	18,584	39.4
	鉄 骨 事 業	21,095	63.5	22,848	70.1	28,207	59.8
	インフラ環境事業	368	1.1	726	2.2	367	0.8
	合 計	33,203	100.0	32,594	100.0	47,159	100.0

項 目		前第3四半期 連結累計期間 (2022年12月31日現在)		当第3四半期 連結累計期間 (2023年12月31日現在)		前連結会計年度 (2023年3月31日現在)	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
受 注 残 高	橋 梁 事 業	26,797	42.0	23,165	40.7	29,620	45.6
	鉄 骨 事 業	36,668	57.5	32,981	58.0	35,194	54.2
	インフラ環境事業	306	0.5	716	1.3	116	0.2
	合 計	63,772	100.0	56,863	100.0	64,931	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

項 目		前第3四半期 連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)		前連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋 梁 事 業		10,473	39.1	15,474	37.7	14,495	36.5
鉄 骨 事 業		15,652	58.4	25,061	61.0	24,237	61.0
インフラ環境事業		265	1.0	126	0.3	454	1.2
不 動 産 事 業		306	1.1	308	0.8	409	1.0
そ の 他		92	0.4	100	0.2	130	0.3
合 計		26,790	100.0	41,071	100.0	39,727	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。